

《 夏休みが終わり、飛躍の秋へ 》

今年の夏休みも暑い日が続きましたが、皆さんどのように過ごしましたか。3年生は既に総合型選抜のエントリーなどが始まっており、9月初旬から公務員試験、民間企業の就職試験が始まります。夏休み中には、教科の個別指導や志望理由書・小論文指導、ハローワークによる面接指導など、進路希望に応じて様々な取り組みがなされました。また、1・2年生も志望校のオープンキャンパスや公開講座等への参加を通して目標を明確にし、モチベーションを高めた人が多いと思います。

さて、2日間の課題考査にはしっかりと準備をして臨めたでしょうか。この考査までの成績を含めて前期の評定をつけられます。さらに、夏休み中の課外授業や課題学習によって蓄えた力を十分に発揮し、これからの進路活動に向けて大きく飛躍してほしいと思います。

《 進路決定に向けた活動の目安 》

◎1年生

ポートフォリオや手帳などを利用して、学習の軌跡をしっかりと残していきましょう。大学入試改革により、各入試では受験生を多面的に評価するために3年間の学びの過程が問われることになり、効果的で積極的な学習と継続した努力とが求められます。そのために、学習の軌跡（いつ、何を、どう、どのくらい学習してきたか）を残してください。それによってテストの点数だけではわからない自分の成長や、弱点が形成された過程を知ることができます。まずは7月の進研模試の結果を分析して、学習方法や習慣を見直し、記録しましょう。

◎2年生

7月の進研記述模試の結果を分析し、目標を再設定してください。模試における志望校の記載は、目標を定め客観的なデータを得るために重要です。11月実施の記述模試に向けて、大学のパンフレットやWebページで情報を集めて、志望校の候補を増やしておいてください。そして、返却された成績票から自分の学力の構造や問題点、課題をしっかりと分析し、今後の学習の指針としてください。

納得のいく進路選択をするために、2年生のうちに自分の適性や将来やりたいことを明確に把握（自己分析）する努力をしましょう。学校行事や探究学習に主体的に取り組むと、自己分析のきっかけがつかめることがありますよ。

◎3年生

就職希望者は、7月に求人票が公開されてから企業研究・会社見学をし、就職校内選考会を経て応募先が決定しました。今後は試験や面接の対策を行い、しっかりと準備を整えて入社試験に臨んでください。

進学希望者は受験に向けて各自でスケジュールややるべきことが異なります。周囲に流されず、自分のことに責任をもって受験を乗り切ってください。大学受験者は「共通テスト」について、総合型や推薦型入試を考えている人は「志望理由書の書き方」について、次のページにまとめましたので参考にしてください。

《 9月の進路関係行事 》

- 1日(月)～2日(火) 課題考査(1～3年)
- 4日(木)～10日(水) 生徒面談(45分授業・平日)
- 8日(月) 推薦校内選考会(看護)
- 13日(土) 共テ模試・看護模試③(3年)
- 19日(金) スタディーサポート(1・2年)
- 24日(水) 推薦校内選考会
- 25日(木) 進学講演会(1年)
- 茨大交流会(1年のK₃Hi)
- 27日(土) 英語検定②

《 10月の進路関係行事 》

- 4日(土) 全統記述模試(3年)
- 8日(水)～10日(金) 第3回定期考査(1～3年)
- 14日(火) 大学見学会(1年)
- 18日(土) 共テ模試・看護模試④(3年)
- 25日(土) 漢字検定②
- 28日(火) 進研模試(1・2年)
- 29日(水) 進研模試2日目(2年)



《 大学入学共通テスト 》

大学進学希望者を対象に、9月19日(金)に2026年度大学入学共通テスト出願ガイダンスが実施されます。今年から出願手続きがペーパーレスになり、生徒保護者自身で全ての手続きをするので、出願ミスを教員が見つけることが難しくなりました。共通テスト受験者は説明をよく聴いてミスがないよう十分注意し、期限を守って出願してください。共通テストは出願時期が早く、総合型選抜や学校推薦型選抜での受験だけを考えていたとしても、それらの合格発表前に共通テストの出願が締め切られます。そのため一般選抜も視野に入れた準備が必要になります。また、合格内定後の学力の維持・向上の面から、そして進学後には一般選抜での合格者とともに大学の授業を受けることから、共通テストの受験は重要になります。総合型選抜・学校推薦型選抜希望者も必ず出願し、受験にむけて学習を継続してください。

(1) 出願

9月16日(火)～10月3日(金)17:00 ※可能な限り9月中に出願してください。

出願サイトにアクセスし、作成済みのマイページから受験教科等を登録します。

教員が確認できるよう「出願内容等の学校への情報提供」に同意することを忘れずに。

(2) 検定料払込

9月16日(火)～10月3日(金) ※可能な限り9月中に払い込みをしてください。

(3) 出願内容の確認訂正

10月10日(金)～17日(金)

→受験票の取得(マイページ上にて12月10日以降)

3教科以上受験…18,000円

2教科以下受験…12,000円

成績通知手数料… 300円

(4) 受験

1月17日(土)～18日(日) ※受験会場は受験票に記載されます

《 志望理由書 書き方のヒント 》

高校生の志望理由書を見ると、残念な気持ちになることが多くあります。次に当てはまる文章を書いていませんか？

残念な例

1. 乱雑な文字で書かれている
2. 誤字脱字やひらがなが多い
3. 原稿用紙の使い方が間違っている
4. 具体的なことが書かれていない

「相手に読んでもらう書類だという意識」は評価してもらうための最低条件です。制限時間内に書かなければならない文章ではないからこそ、丁寧に書きましょう。自分の経験やこれから学びたいことなどについて書いてあるはずなのに、誤字脱字やひらがなの多用があると、内容の評価にたどり着かない可能性もあります。

また、抽象的な表現にとどまっている文章も残念です。「触れ合った全ての人を笑顔に…」などは一見すると立派なのですが、実は内容が伝わりません。実体験を伝えるときに、「文化祭で協力して頑張りました」では、結局何をしたのかかわりません。読み手が具体的にイメージできない内容では、評価されにくいということを肝に銘じておきましょう。

志望理由書で評価される3つの能力

1. 問題発見能力 現代社会の様々な出来事からその時代における問題を発見できる能力
2. 課題解決能力 発見した課題に対する具体的なアプローチ方法を提示する能力
3. 社会貢献能力 社会に存在する問題を解決し、社会に貢献できる能力

これらの能力を自分が有することを具体的に示すことで高い評価を得ることができます。そのような文章を書くためには、情報収集が重要であり、情報収集の量が多ければ多いほど良質な志望理由書を作成することにつながります。また、これらの能力を有していることをアピールしていくためには、大学等の存在意義の一つである「社会に貢献する」ということを絡めた「将来のビジョン」を提示し、それを実行するために志望先で学びたいことを具体的に述べましょう。

情報収集はWebだけでなく、本や新聞など、多様な情報源にあたると良いです。紙媒体は手軽さではWebに劣りますが、信頼度やほかの人との差別化を図るうえでは非常に有効です。